

情 報 公 開 文 書

研究の名称	Vogt-小柳-原田病治療眼での黄斑部錐体細胞密度と網膜感度の検討
整理番号	
研究機関の名称	富山大学附属病院
研究責任者 (所属・氏名)	眼科 教授 林篤志
研究の概要	<p>【研究対象者】 2012年4月から2018年12月の期間に、当院でVogt-小柳-原田病と診断され、治療を受けた患者さんで、5年以上通院された方。</p> <p>【研究の目的・意義】 Vogt-小柳-原田病では急性期に漿液性網膜剥離が発生し、ステロイド治療後に漿液性網膜剥離が改善します。漿液性網膜剥離により黄斑部の錐体細胞がどの程度減少し、その後回復していくかは明らかになっていません。また治療後の網膜感度の変化についても明らかになっていません。本研究では、黄斑部錐体細胞密度と網膜感度の長期変化とその関連について解析を行うことを目的としています。</p> <p>【研究の方法】 ステロイド治療後に漿液性網膜剥離が改善した後に測定した、錐体細胞密度と網膜感度などについて、5年間の検査結果の経過を解析します。</p> <p>【研究期間】 実施許可日 ～ 2027年3月31日</p> <p>【研究結果の公表の方法】 学会発表、論文掲載を予定しています</p>
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法 (他機関への提供の有無)	治療後の視力、眼底写真、光干渉断層計(OCT)、眼底視野計、補償光学眼底カメラなどの検査結果。 他機関への提供はありません。また、患者データは匿名化され、個人情報が切り離されています。
研究に用いる試料・情報を利用する機関及び施設責任者氏名	富山大学附属病院 病院長 林 篤志
研究資料の開示	研究対象者、親族等関係者のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。
試料・情報の管理責任者(研究主機関における研究責任者氏名)	眼科 教授 林篤志
研究対象者、親族等関係者からの相談等への対応窓口	研究対象者からの除外(試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む)を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。 電話 眼科医局 076-434-7363 E-mail nakatomo@med.u-toyama.ac.jp 担当者所属・氏名 眼科助教 中村友子